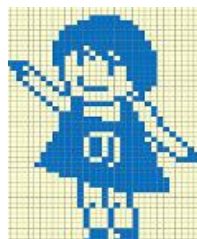


のすたる山翡翠

「はじ沙汰です！」（はじめまして or ご無沙汰です）。のすたる山翡翠と申します。
2019年4月の初参加以来、これまで「のすたる山翡翠」では、主に1980年代半ばまでのパソコンやソフト、ゲーム機など展示＆動かしてきました。今回で5回目の参加です。どうぞよろしくお願いいたします。当時を知っている方は懐かしく感じるとはと思いますが、初めての方は「昔、こういうものがあったんだ〜」と実機で感動！？してください！？

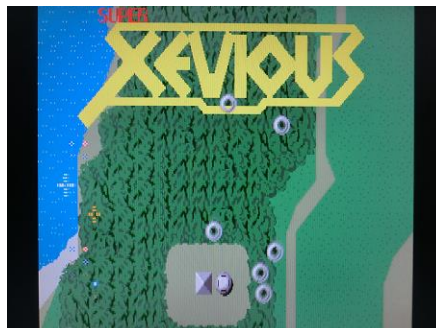
なお、毎回過去の分のチラシも配ってきましたが、配るのは今回のだけにして、これまでのチラシは、以下のQRコードからどうぞ！



■ 展示ラインナップ

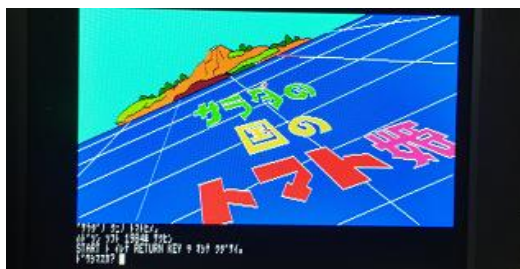
3機種の展示 & ゲームの試遊ができます。ゲームについては、個人的好みがSTGなので、そっち寄りになっている点はあしからず（笑）。
⇒「X68000」「X1」「MZ-700（+PCG）」です。

■1機種目のX68000については、これまで過去のチラシにさんざん書いてきたのでイマサラ説明は不要ですが、一言だけ！『理想のレトロゲーミングPC』です！！
当時アーケードゲームでしか遊べなかったタイトルが、次々と遊べるようになりました。初期モデルにはアーケード版からの完全移植の「グラディウス」が付属された事も強烈なインパクトがありました。



X68000 本体 (ACE-HD) と ゼビウス(電波新聞社製)

■2機種目の X1は、X68000 の前身です。初代デビューは1982年末、その後マイナーチェンジを繰り返し他社のPC（特にFM-7やPC-8801）と並んで注目されていましたが、その人気が決定的になったのは、1984年5月に電波新聞社が「ゼビウス」を発売したときです。ジョイスティック付属というのもこれまでのパソコンゲームに無かった事でした。ハードウェアの大幅な制約を受けているにもかかわらず「よくぞここまでやった！」と感動しました。また、X1はインテリアとしても十分に通用する見た目で、19インチラックにちゃんと収まるように設計されていた事もこれまでのPCにはなかった事でした。



X1(こちらはマイナーチェンジ版の X1-D) と
AVG の名作「サラダの国のトマト姫」(ハドソンソフト製)

■3機種目は MZ-700+PCG。ここで「PCGって？」 PCGは Programable Character Generator の略で、「自分でキャラクターを作ることができる周辺機器」です。PCGは MZをはじめ1980年前半のグラフィック機能が乏しいPCの強力な助っ人で、主に「HAL研究所」というメーカーから発売されていました。MZ-700の場合は「PCG-700」という名称で1983年5月に¥29,800で発売されましたが、MZ現役時代、私は手に入れる事ができませんでした。今回展示するのは一昨年にオークションで手に入れた物です。

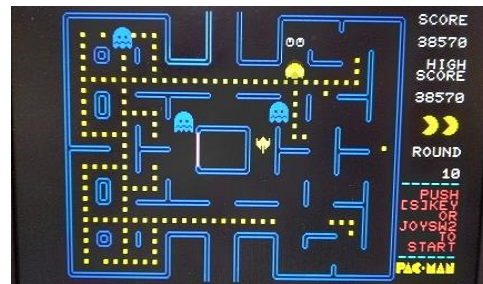
対応しているソフトもなかなか見つからなかったのですが、ようやく「パックマン」が発掘されました。「パックマン」は1983年12月に電波新聞社から発売されましたが、当時遊んでいたのはノーマル版のみ。PCG版はあれから40年近く経って、ようやくお目にかかる事ができました。



MZ-700本体。ソフトはカセットテープで供給されていました



PCG-700 本体(HAL研究所製)



MZ-700のパックマン
左:ノーマル版、右:PCG版

PCGなしのノーマル版でも動きはとてもなめらかでかなりの出来だったのですが、PCG版を動かしてみると、グラフィックが見違えるようになりました。迷路がヨコ画面なのはカンベン。当時のPCのパックマンはほとんどがヨコ画面でしたので・・・。

PCGはプログラマーがパックマンやモンスターなどを「ゼロ・イチ」のビット(2進数)でデザインして、プログラムに組込んでいるわけですが、「現役でプログラムしていた時にこれ持っていたら、自分でもこういうの作っていたなぁ～」というのが正直な思いです。オークションで取り寄せたハードなので、PCGに関する説明や使い方はまったく無く、結果自分ですべて調べねばなりませんが、WEBでイロイロみていたら、糸口になるような記事が結構でてきたので、それを頑張って理解すれば、もしかしたらできるかも…!?

しかし、展示にあたってキニナル点が。PCG本体とMZを繋ぐケーブルがたまに接触不良を引き起こすのです。経年劣化なので仕方がないといえはそれまでなのですが、果たしてちゃんと映るのか?という感じです。実際どうなるかは、みなさんの眼で確かめてください!!

■おわりに

MZ-700で約40年前のPCGのソフトをやっと動かせたので、チラシの半分はMZ-700の思い入れで割かせて頂きました。MZ-700は、PCの基礎～BASIC、そしてアセンブラ(マシン語)、と学んできた思い入れの深い機種なのです。

PCGを動かす事ができたので、これを理解して数十年ぶりに何かを作ってみたいなぁ～という心境になった事を伝えて、オシマイにしたいと思います。

『ありがとうございました!!』